学校番号	T3017

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	４単位	年次	１年次
使用教科書	新編 国語総合 改訂版　（大修館書店）						
副教材等	無（授業プリントを用意します）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・出席して真面目に取り組む姿勢を重視します。
・ひとつひとつ確実に身につけていくために、生徒の皆さんには、予習よりも復習を繰り返しすることを期待しています。
・基礎的基本的な知識の修得から出発し、より深い学びを追究していきます。
・小説や評論、古文や漢文と幅広く学習を行います。これからの学習活動、コミュニケーション能力の基礎となる能力の向上を目指します。

2　学習の到達目標

・相手や目的、場に応じた適切な表現ができる。
・ひとつひとつの言葉を大切にし、心情を豊かにする。
・言語文化に対する関心を深め、国語を尊重する態度を身につける。
・常用漢字の読み書きに習熟する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	・授業・教材に興味を持って意欲的に取り組んでいる。 ・伝統的な言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	・本文の内容を踏まえ根拠を明確にして意見を述べることができる。 ・目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりできる。	・相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	・文章の内容を叙述に即して的確に読み取ることができる。 ・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうことができる。	・伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	出席の状況 授業態度 行動の観察 記述の確認及び分析（授業プリント等）	行動の観察 記述の確認及び分析（授業プリント等）	記述の確認及び分析（授業プリント等） 定期考査	記述の確認及び分析（授業プリント等） 定期考査	行動の観察 記述の確認 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
4 5	日本語を見つめる・漢文のとびら	「漢字の性格」 ・漢字の特色および日本語における漢字の働きを知るとともに、漢字を身につけることの大切さを理解する。 「漢文のすすめ」 ・漢文に親しみ、漢文を学ぶ意義を理解する。	○			○	○	a: 漢字の意義や問題点について理解を深めようとしている。 漢文に対する興味関心を高めている d:多様な表記を用いるという日本語の特質を読み取っている。 e:表意文字と表音文字の違いとそれぞれの特徴を理解している。 漢文と現代との深い関わりについて理解している。	出席の状況 授業態度 行動の観察 記述の確認 及び分析 （授業プリント等） 小テスト 定期考査
	小説を味わう	「羅生門」 ・小説を読み味わい、そこに描かれた人間の生き方についての考えを深める。 ・小説に親しみ、場面や心情の変化を表現に即して読み味わう。	○	○		○	○	a:作品に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。 b: 小説の末尾から受けた印象について、自分の考えを他の人にわかりやすく伝えている。 d:下人の心理の移り変わりを、場面に即して読み取っている。 老婆の行動の原理を、その言動から読み取っている。 e:難しい漢語など、普段なじみのない語句について、その意味を理解している。	
6 7	漢文のとびら	「訓読のきまり」 ・訓読のきまりを理解する。 ・漢語の基本構造を理解する。 「格言」 ・格言を読んで、ものの見方・考え方を広げたり深めたりする。 ・漢文を音読し、漢文に親しむ。	○			○	○	a: 漢文を音読することを楽しみ、意欲的に学習に取り組んでいる。 b:格言の現代的意義を考えることで、自分の考えを深めている。 d:書き下し文を確認し、本文を正確に読んでいる。 ・格言について知り、味わっている。 e:返り点、助字、置き字、再読文字などの訓読の決まりを理解している。	出席の状況 授業態度 行動の観察 記述の確認 及び分析 （授業プリント等） 小テスト 定期考査

	古文に親しむ	「ねずみの婿とり」 ・古典の言葉に慣れ正しく音読する。 「児のそら寝」 ・正しく音読し、的確に内容を読み取る。 ・小説に親しみ、場面や心情の変化を表現に即して読み味わう。	○			○	○	a:古典に親しもうとしている。 d:古典の言葉に慣れ、正しく音読している。 ・話の展開を理解し、内容を把握している。 ・僧たちの児に対する行動と心情とを読み取っている。 e:歴史的仮名遣いとその由来について理解している。 ・重要な語句の意味を理解している。	
8 9 10.	漢文のとびら・唐詩の調べ	「故事成語」[守株] ・漢文を音読し、漢文に親しむ。 ・文章を読んで、ものの見方・考え方を広げたり深めたりする。 「春眠暁を覚えず」 ・唐詩の特質を理解して鑑賞し、作者の心情や描かれた情景を想像し味わう。	○			○	○	a: 故事成語の意味や使われ方に興味を持ち、その由来に関心を持っている。 ・漢詩に親しみ、意欲的に学習に取り組んでいる。 d:書き下し文を確認し、本文を正確に読んでいる。 ・唐詩の表現の工夫について知り、鑑賞している。 e:絶句の形式（字数・句数・押韻・対句）について理解している。	出席の状況 授業態度 行動の観察 記述の確認 及び分析 （授業プリント等） 小テスト 定期考査
	物語の世界・和歌と俳諧の調べ	「平家物語」 ・登場人物の性格や心理の動きを読み取る。 ・物語への関心を持つ。 「百人一首」 ・和歌に親しみ、作者の心情や描かれた情景を想像して味わう。	○			○	○	a:作品に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。 d:登場人物の行動や心情を読み取っている。 ・軍記物語の面白さを理解している。 ・繰り返し音読し、歌の韻律を理解している。 e:語りと会話による物語の構成と文体の特徴を理解している。	
11. 12.	唐詩の調べ・孔子の言葉	「友情の歌」 ・唐詩を繰り返し音読し、漢文特有の口調に習熟する。 「論語　学而第一」 ・『論語』について理解を深める。	○			○	○	a: 唐詩に親しみ、理解を深めようとしている。 d:繰り返し音読し、漢文特有の口調に親しんでいる。 ・「学」と「習」の意味の違いがどのように説明されているかを把握している。 e:漢字の字義を成り立ち、漢和辞典の使い方について理解している。	出席の状況 授業態度 行動の観察 記述の確認 及び分析 （授業プリント等） 小テスト 定期考査

	読書を広げる	「夢十夜」 ・象徴性の高い小説に取り組み、その寓意を読み深める。 ・作品の構成・展開を的確にとらえ小説の面白さを味わう。	○	○		○	○	a:作品に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。 b: 「第一夜」と「第六夜」のどちらが興味深かったかについて、わかりやすく話している。 d:「第一夜」全体の寓意について、考えを深めている。 ・「第六夜」の寓意を自分なりに読み取っている。 e:作者や日本の近代文学について理解を深めている。	
1 2 3	社会に生きる	「何のために『働く』のか」 ・筆者の考えを叙述に即して的確に読みとり、働くことについての理解を深める。	○	○	○	○		a: 「働く」とはどういうことかについて、理解を深めようとしている。 b:「アテンション」について、自分の体験に引きつけて意欲的に話し合っている。 c:「働く」ことについて、自分の考えをわかりやすく文章にしている。 d:筆者が考える「アテンション」とはどのようなものかを理解している。	出席の状況 授業態度 行動の観察 記述の確認及び分析（授業プリント等） 小テスト 定期考査
	詩歌との出会い・短歌	「あどけない話」 ・作品にうたわれている情景や心情を表現に即して読み味わう。 ・短歌に親しみ、形式や表現の特色を理解する。	○	○	○	○		a:詩の読み方・楽しみ方を身につけようとしている。 b:声の大きさや速さなどに気をつけて詩や短歌を朗読している。 c: 自分の感想・考えをわかりやすく鑑賞文にまとめている。 d:作品の表現上の特徴を理解している。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度 b: 話す・聞く能力 c: 書く能力 d: 読む能力　e:知識・理解

※　原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。